

「第11回よみうり子育て応援団大賞」NPO法人しぶたね受賞記念イベント

## 公開講座

# 「病気をもつ子ども、きょうだい、保護者、 家族まるごと応援する子育て支援」

日時:2020年

**1月11日(土)** 13:30~16:00(13時開場)

会場:さくらホール(大阪市立総合医療センター内)

定員:200名(先着順、参加費無料、事前申込不要)

対象:子育て中の保護者、医療関係者等どなたでも

プログラム:

13:30 報告

「当院における入通院児のきょうだい支援の取り組み」

杉本 奈緒子(大阪市立総合医療センター医療技術部 保育士)

14:00 講演

「思春期にきょうだいが病気になるということ」

清田 悠代(NPO法人しぶたね 理事長)

14:30 休憩

14:45 特別講演

「子どもを育てる親の心に寄り添う」

大日向 雅美 先生(恵泉女学園大学学長。NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事)

15:45 質疑応答

16:00 終了予定




特別講演に  
大日向 雅美 先生が  
来てくださいます

さくらホール前のロビーで

和田芽衣さんミニ写真展「私たち普通のお母さん」を同時開催します

「大変だね。私にはできないわ。」子どもの看病について周りからそう言われることに何度も傷ついてきました。埼玉県飯能市の和田芽衣さんの長女は難病を患っています。娘の「今」を残したいと写真を撮り続け、同じように難病の子がいる4つの家族の日常も写真におさめました。

問い合わせ  しぶたね [sibtanev@yahoo.co.jp](mailto:sibtanev@yahoo.co.jp)

 大阪市立総合医療センター 06-6929-1221 医療技術部プレイスペシャリスト 山地

大阪市立総合医療センター 小児医療センター 主催



# 講師 紹介



## 大日向 雅美 先生

恵泉女学園大学学長。1970年代はじめのコインロッカー・ベビー事件を契機に、子育て中の親の不安やストレスについて研究し、たくさんの当事者の悩みを受け止めてくれました。NHK[すくすく子育て]にも専門家としてゲスト出演されています。また国の社会保障審議会・子育て支援・男女共同参画等の委員を務めると共に、子育て・家族支援のNPO活動にも従事し、地域の皆で子育てを支える活動に注力されておられます。主な著書に『みんなママのせい?～子育てが苦しくなったら読む本～』(静山社文庫)『増補 母性愛神話の罫』(日本評論社)、『「子育て支援が親をダメにする」なんて言わせない』(岩波書店)、『人生案内にみる女性の生き方～母娘関係』(日本評論社)など多数。



## 清田 悠代(NPO法人しぶたね 理事長)

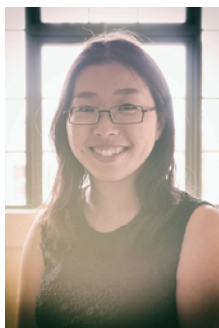
4歳下の弟が肥大型心筋症で、17歳で他界。弟が入院していた病院の廊下で泣いていた小さなきょうだいの姿が忘れられず、社会福祉学部にすすみ、2003年11月「しぶたね」を設立。小学生のきょうだい主役になり、仲間と出会い、あそびきる「きょうだいさんの日」を、小学生向け、きょうだいと親御さん向け、中学生以上向け、出前などのかたちで実施。2006年から大阪市立総合医療センターで入院児に面会する保護者を待つきょうだいと一緒に過ごす活動を実施。その他、講演活動や啓発活動、きょうだいの応援団(シブリングサポーター)を増やし、広げるための「シブリングサポーター研修ワークショップ」を全国各地で開催している。<http://sibtane.com>



## 杉本 奈緒子/榎本 幸美

(大阪市立総合医療センター 医療技術部 診療支援部門療育 保育士)

小児医療センターにおいて、病棟保育をはじめ、きょうだい支援室「わくわくひろば」でも活動。病棟では、遊びやふれあいを通して、子どもたちの入院中における不安やストレスの軽減、成長・発達を促す援助などを行いながら、精神的・情緒的な安定を図っている。きょうだい支援室では、ごきょうだい安心して楽しく過ごすことのできる空間づくりに尽力。日々、保育士にしかできない関わりを通して、患児やごきょうだいが笑顔で自分らしく過ごせる毎日になるように支援している。



## 和田 芽衣 さん(写真家)

8歳(学区の特別支援学級に通学)・6歳・3歳の3人娘の母。2007年から2012年まで、心理士として大学病院にてがん患者や家族のケアに従事。在職中に長女の結節性硬化症が判明し退職。以来、娘の治療や成長、自身の心情を記録するために撮影に没頭。これらをまとめた作品『娘(病)とともに生きていく』が、2016年にドキュメンタリー写真の登竜門である名取洋之助写真賞にて奨励賞を受賞した。来場者は約1万人、各種メディアにも取り上げられるなど大きく注目を浴びた。現在はフリーランス写真家としての活動に加え、病児と家族の当事者団体(ニモカクラブ)の運営も行っている。

## 大阪市立総合医療センター

Osaka Metro(谷町線)都島駅  
2番出口から西へ徒歩3分

JR西日本(大阪環状線)桜ノ宮駅  
東出口から北へ徒歩7分

大阪シティバス「総合医療センター前」下車

